明るい未来への挑戦（スタート）誓いの門出

1月5日（金）垂水市文化会館で成人式が開催されました。成人式は、大人の社会へ仲間入りすることを自覚し、祝い励ますことを目的としたものです。今回、成人を迎えたのは、平成9年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた方で、145人が対象となり、106人が成人式で新たな門出を祝いました。

当日は、はかまやスーツ、振袖などの華やかな装いで、久しぶりに顔を合わせる友人や恩師の先生と成人の日を喜び合いました。式典では、尾脇市長をはじめ、昨年本市を訪れた著名人の方々から映像での祝福の言葉が贈られ、成人式のよい思い出となりました。

未来への期待を込め、スタートを切る新成人の皆様の今後のご活躍をお祈り申し上げます。

PHOTO DATA

①-④新成人で賑わう文化会館ロビー⑤新成人の心境をFMたるみずがインタビュー⑥祝電披露は牧元結さんと吉本朱里さん⑦新成人とたるたる記念撮影⑧国歌斉唱は森吉美空さんのピアノ伴奏⑨オープニングアトラクションはかずまこと（西村和眞さん・篠原誠さん）のコント⑩今年の司会を務めた松尾愛里紗さんと西村和眞さん

はたちの主張

中原　彩嘉 さん

成人を迎え、大人の仲間入りをしました。将来に対しての不安や課題を耳にすることも決して少なくありません。ですが、私たちの世代は、この流れを受け止めつつ、より前向きな気持ちで新しい時代を切り開いていきたいと思っています。私達の可能性は無限です。

松山　祐大 さん

私の夢は鹿児島県の生活基盤を守る仕事がしたいということです。私はその夢を叶えるために昨年鹿児島県庁を受験し合格しました。合格したことはゴールではなく、スタートラインに立つことが出来たと思っています。鹿児島県を支えるために頑張っていきたいです。

赤塚　海心 さん

私は理学療法士になろうと考えています。理学療法士として家族を支えていき、垂水の発展にも協力して行きたいです。理学療法士になるためには様々な分野の病気、治療を勉強しなければなりません。20歳の節目の歳に、覚悟を決めて頑張っていくことを誓います。

市來　凌賀 さん

新成人として誇りを持ち、大人として課せられた責務を果たしながら、先輩方とともによりよい地域社会の創造に貢献できるよう努めたいと考えております。垂水で生まれ育った誇り、そして成人としての決意を心に刻み、未来へ歩んで行くことを誓います。